

〈RICOH MP C305SPの特殊用紙対応状況〉

本留意事項は、リコーにて通紙確認した結果をもとにご使用になる際の留意点を記載したものです。

なお、お客様のご使用環境、用紙の取り扱い方法、2次加工（プレ印刷、ミシン目、スリット加工など）により、正しく通紙しない場合もあります。

※本ガイドは、特殊紙の印刷について、機器の性能を保証するものではありませんので予めご了承ください。

※各特殊紙の取り扱いやご使用上の留意事項は、全て各用紙メーカーのガイドをご参照ください。

※通紙方向は、プリンター給紙口に対しての短辺がSEF(Short Edge Feed)、長辺がLEF(Long Edge Feed)です。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙方向	留意事項
							用紙種類	調整管理	原稿サイズ	用紙種類		
コート紙	複写印刷用紙135K	リコー	A4	片面	手差し	上限しるしまで	表示なし	厚紙 2	A4	表示なし	SEF	留意事項はありません。
コート紙	複写印刷用紙180K	リコー	A4	片面	手差し	上限しるしまで	表示なし	厚紙 3	A4	表示なし	SEF	留意事項はありません。
コート紙	PODグロスコート100	王子製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	コート紙	中厚口	A4	コート紙	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。 (3) 重送が発生する場合はサバキを入れるか、1枚ずつ手差しトレイに用紙をセットしてください。
コート紙	PODグロスコート128	王子製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	コート紙	厚紙 1	A4	コート紙	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。 (3) 重送が発生する場合はサバキを入れるか、1枚ずつ手差しトレイに用紙をセットしてください。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙方向	留意事項
							用紙種類	調整管理	原稿サイズ	用紙種類		
コート紙	PODグロスコート158	王子製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	コート紙	厚紙2	A4	コート紙	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。 (3) 重送が発生する場合はサバキを入れるか、1枚ずつ手差しトレイに用紙をセットしてください。
コート紙	PODマットコート100	王子製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	コート紙	中厚口	A4	コート紙	SEF	留意事項はありません。
コート紙	PODマットコート128	王子製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	コート紙	厚紙1	A4	コート紙	SEF	留意事項はありません。
コート紙	PODマットコート158	王子製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	コート紙	厚紙2	A4	コート紙	SEF	留意事項はありません。
はがき	郵便はがき（旧官製はがき）	郵政公社	はがき	片面	手差し	上限しるしまで	表示なし	厚紙3	はがき	表示なし	SEF	推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）で無い場合、画像濃度ムラが発生することがあります。
耐水紙	オーバーMDP F22MDP	日本製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	耐水紙	厚紙3	A4	耐水紙	SEF	裏移りする場合があります。裏移りの場合は1枚ずつ通紙してください。を印刷するような場合は、光沢ムラが生じる場合があります。
耐水紙	オーバーMDP F15MDP（耐水紙）	日本製紙	A4	片面	手差し	上限しるしまで	耐水紙	厚紙1	A4	耐水紙	SEF	裏移りする場合があります。裏移りの場合は1枚ずつ通紙してください。
耐水紙	カレカMMW4A4250（耐水紙）	国際紙パルプ商事	A4	片面	手差し	上限しるしまで	耐水紙	厚紙3	A4	耐水紙	SEF	裏移りする場合があります。裏移りの場合は1枚ずつ通紙してください。
ラベル紙	レーザプリンタラベル 宛名用12面	エーワン	A4	片面	手差し	1枚	ラベル紙	厚紙1	A4	ラベル紙	SEF	はくり紙は手差し給紙を使用し1枚送りのこと。
ラベル紙	マルチプリンタラベル 宛名用24面	エーワン	A4	片面	手差し	1枚	ラベル紙	厚紙1	A4	ラベル紙	SEF	はくり紙は手差し給紙を使用し1枚送りのこと。
ラベル紙	タイプSAハクリ紙20面	リコー	A4	片面	手差し	1枚	ラベル紙	厚紙1	A4	ラベル紙	SEF	はくり紙は手差し給紙を使用し1枚送りのこと。
ラベル紙	タイプSAハクリ紙ノーカット	リコー	A4	片面	手差し	1枚	ラベル紙	厚紙1	A4	ラベル紙	SEF	はくり紙は手差し給紙を使用し1枚送りのこと。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙サイズ	印刷面	給紙トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙方向	留意事項
							用紙種類	調整管理	原稿サイズ	用紙種類		
封筒	レーザー封筒 長3 ホワイト	ハート	長3	片面	手差し	上限しるしまで	封筒	中厚口	長3	封筒	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。
封筒	レーザー封筒 洋長3 ホワイト	ハート	洋長3	片面	手差し	上限しるしまで	封筒	中厚口	洋長3	封筒	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。
封筒	PODホワイト2.0 長3	山櫻	長3	片面	手差し	上限しるしまで	封筒	中厚口	長3	封筒	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。
封筒	ホワイト封筒洋2	寿堂	洋2	片面	手差し	上限しるしまで	封筒	中厚口	洋2	封筒	SEF	後端1cmは印字不可になります。
名刺	白無地A4判10面 名刺サイズ	エーワン	A4	片面	手差し	上限しるしまで	表示なし	厚紙 3	A4	表示なし	SEF	(1) 推奨環境（温度15°C～25°C、湿度30%～70%）にて使用してください。 (2) 推奨環境以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印字品質に影響が出ることがあります。 (3) 重送が発生する場合はサバキを入れるか、1枚ずつ手差しトレイに用紙をセットしてください。

■郵便はがきについて

- (1) 日本郵政株式会社発行の郵便はがきは再生紙を使用しています。
再生紙は特性上、紙粉の影響で紙詰まりが発生する場合があります。発生した場合には、使用説明書の清掃項目を参照の上、清掃を行ってください。
- (2) 郵便はがきは時期によりはがきの紙質に相違がある場合がございます。あらかじめご了承ください。（年賀はがき・かもめーるも同様です）
- (3) 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。

カテゴリ	製品名	メーカー	用紙 サイズ	印刷面	給紙 トレイ	積載可能枚数	本体設定		ドライバー設定		通紙 方向	留意事項
							用紙 種類	調整 管理	原稿 サイズ	用紙 種類		

- (4) インクジェット専用タイプ、写真用はがきは、表面に塗布された溶剤が定着温度で溶解され、搬送経路にダメージを与える故障を起こす可能性がありますのでご使用にならないでください。
(年賀はがき・かもめーるも同様です)
- (5) 郵便はがき印刷時の本体設定、ドライバー設定は各機種のマニュアルをご参照ください。

■耐水紙について

- (1) 印刷物を屋外に掲示する場合など、掲示する環境条件（直射日光、湿気など）によっては、退色する場合があります。
- (2) 厚紙にベタを印刷するような場合は、光沢ムラが生じる場合があります。
- (3) 普通紙への印刷と比べ全体的にやや濃度が薄く、また部分的に色が薄く抜ける場合があります。（特にベタ部）
- (4) 温度/湿度の影響を受けて異常画像が発生する場合があります。ご使用にならない時は、ビニール袋に入れ、密封して保管をするようにしてください。

■汎用ラベルについて

- (1) 汎用ラベルは、裁断面等からの糊のはみ出しや紙粉の影響により、紙詰まりや異常画像の発生、感光体の早期劣化等を起こす場合があります。
- (2) 搬送不良を未然に防ぐため、搬送経路に付着した糊・紙粉等は定期的に清掃して取り除いてください。
- (3) 汎用ラベルは、温度/湿度の変化によりカールや変形を起こしやすいため、開封後はトレイ内に残った用紙を含めビニール袋に入れ、密封して保管するようにしてください。
- (4) カール等変形した汎用ラベルは搬送不良の原因となりますのでご使用しないでください。
- (5) 汎用ラベルの継ぎ足しは重送や紙詰まり等の搬送不良の原因となりますのでご注意ください。

■封筒について

(1) 通紙確認済み封筒をご使用ください。通紙確認済み封筒であっても環境によりシワが発生し、正しく印刷されない場合があります。
特に湿度50%以上の多湿環境で使用する場合はシワが発生しやすくなります。

- (2) 用紙は1枚ずつセットしてください。
- (3) 用紙のセット方向は正しくセットしてください。
- (4) 封筒を押さえて中の空気を抜き、折り目をしっかり押さえてからセットしてください。

また、封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

- (5) 封筒長辺の端に細かいシワ、汚れ、または一部ぼやけて印刷される場合があります。
- (6) 封筒の用紙が重なり合っている部分に印刷する場合スジが入ることがあります。
- (7) 封筒が湿度の影響を受けないようビニール袋に密閉して保管し、出力の際必要なだけ取り出して印刷を行ってください。
- (8) 封筒の裏面には印刷しないでください。